

病害虫防除技術情報第9号

令和8年10月9日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています。
ほ場を観察して初期防除に努めましょう。

1 対象作物：野菜類、ダイズ、花き類

2 対象病害虫名：ハスモンヨトウ

3 発生状況と気象の状況

- (1) 10月1日から7日に実施した巡回調査では、イチゴ、冬キャベツ、ハクサイ、ネギ、ダイズといった幅広い品目でハスモンヨトウによる被害が確認されています。
- (2) 県予察ほ（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（9月第2半旬から10月第1半旬）は2,984頭（過去10年平均2,494.6頭）と平年よりも多く推移しており、特に9月第6半旬及び10月第1半旬の誘殺数が多くなっています（図1）。
- (3) 1か月予報（10月8日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1か月の気温は高い見込みで、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が続くと考えられます。

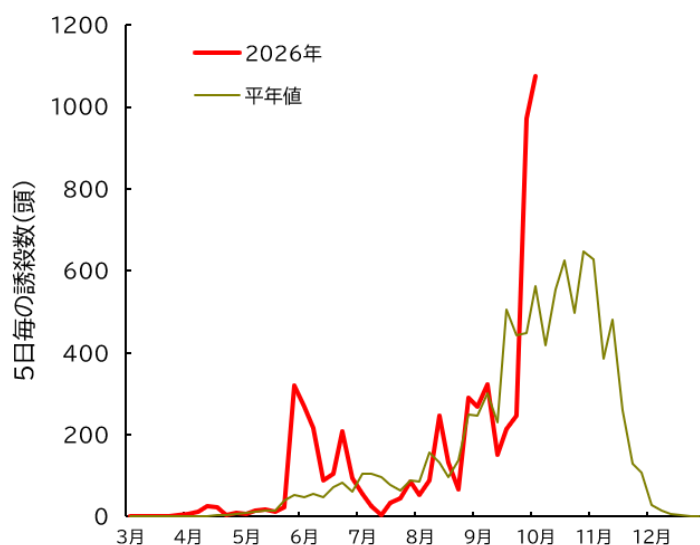


図1: フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4 防除対策

- (1) こまめにほ場を見回り、薄茶色の毛で覆われた卵塊（図2 a）や、ダイズにおいては白変葉（図2 b）を探す等して発生初期の防除に努めてください。
- (2) 老齢幼虫（図2 c）には農薬の効果が高いので、若齢幼虫期（図2 d）のうちに防除してください。



図2：ハスモンヨトウによる被害の様子

a 葉裏の卵塊（ダイズ）

b 白変葉（ダイズ）

c 老齢幼虫（ダイズ）

d 若齢幼虫（ネギ）

- (3) 他県では薬剤抵抗性発達事例の報告があります。薬剤抵抗性発達を回避するため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。
- (4) 防除薬剤は次のインターネットサイトで検索することができます。
- <https://pesticide.maff.go.jp/>（農林水産省の「農薬登録情報提供システム」）
- (5) ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm>

農薬は必ずラベルの表示を確認し、使用方法を守って使いましょう。

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら→

(<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>)

